

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆栄養学演習	4年次	必修	演習	1単位（30時間）	真島 和徳 ※
授 業 概 要					
公衆栄養学分野における、医学および保健医療に直接的、間接的に関係する最新のトピックスを取り入れ、白書や邦文のみでなく、英文専門雑誌にも触れながら、演習形式で実施する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学分野における学んできた内容を系統的に整理し、体系立てて理解できる。 ・EBNの観点から管理栄養士としての必要な知的能力、技術的技能を身につける。 					
実務経験のある教員					
真島 和徳：新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	公衆栄養学概要と公衆栄養学活動				真島 和徳 ※
2	健康・栄養問題の現状と課題（人口問題、少子高齢化、健康寿命、有病率）				
3	健康・栄養問題の現状と課題（食事・食生活の変遷）				
4	健康・栄養問題の現状と課題（食料需給表、食料自給率）				
5	健康・栄養問題の現状と課題（国民健康・栄養調査）				
6	栄養政策と関連法規（栄養士法、行政栄養士）				
7	栄養政策と関連法規（健康増進法と健康日本21（二次））				
8	栄養政策と関連法規（健康増進法と国民健康・栄養調査）				
9	栄養政策と関連法規（特定健診・特定保健指導）				
10	栄養政策と関連法規（食育基本法と食育推進計画）				
11	栄養政策と指針、ツール（食生活指針、食事バランスガイド等）				
12	栄養疫学の概要				
13	栄養疫学における調査方法と評価、統計と栄養情報処理				
14	公衆栄養学マネジメント（社会調査、既存資料の活用）				
15	公衆栄養学プログラム（計画・実施・評価） まとめ				
学 習 方 法					
事前学習：公衆栄養学の教科書や配布資料に目を通すこと。 最新の話題となるトピックスの論文の検索を、邦文学会誌をはじめ英文専門誌も活用すること。 事後学習：受講後まとめを行い、苦手分野を補強する。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 欠席・遅刻、早退が極力ないことが望ましい。 科目終了試験を行い、合格判定は60点以上とする。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔参考書〕 管理栄養士養成課程「栄養管理と生命科学シリーズ」公衆栄養学の科学（理工図書） 日本人の食事摂取基準（20年版）（第一出版） わかりやすいEBNと栄養疫学（佐々木敏：同文書院） 公衆栄養学ワークブック（株みらい） 国民健康・栄養調査の報告（健康・栄養情報研究会編：第一出版） 国民衛生の動向（厚生統計協会） よくわかる統計学<介護福祉・栄養管理データ編>（蘆志和、広田直子、石村貞夫：東京図書）等					